

交通の安全性向上を図るとともに観光周遊ルートをつなぐループ橋の整備

- ・緊急輸送道路としての機能強化
- ・救急医療道路としての安全・安心の向上
- ・観光周遊ルートをつなぎ広域観光の誘発効果



■路線の概要

(主)新居浜別子山線は、新居浜市角野地区の国道11号を起点に新居浜市と旧別子山村を結ぶ延長31.2kmの幹線道路で、平成15年4月に合併した新居浜市と旧別子山村を結ぶ合併支援道路であり、災害発生時の物資輸送等に資する緊急輸送道路に位置づけられている。
さらに、「マイントピア別子」、「清滝」、「旧別子銅山跡」、「別子観光センター」、「森林公園ゆらぎの森」、「富郷渓谷」及び「翠波高原」等を結ぶ観光周遊ルート[別子・翠波はな街道]として四季を通じた観光道路としての役割も併せ持っている。



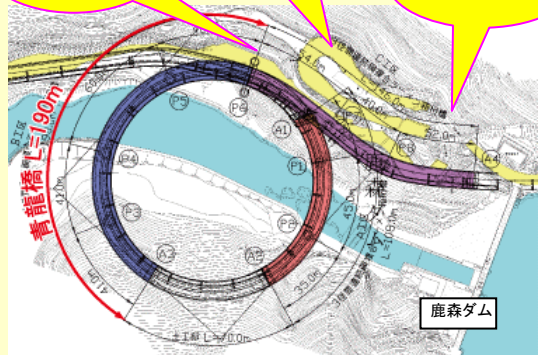
至 別子山地区



幅員狭小！急カーブが連続！

大型バスが通行できない！

ダムとの高低差20m以上！



ダム前後で道路の高低差が20m以上もある急峻な地形
幅員狭小で急カーブが連続
普通車は離合困難、大型バスは通行不可能



普通車は離合困難
大型バスは通行できない



幅員が狭く、急カーブの
老朽トンネルが連続する

ダム前後との高低差を解消し、
線形改良と幅員の拡幅による車両交通の安全性の向上
歩道設置による歩行者の安全性の向上
当該箇所で大規模バスが通行可能となり観光振興に寄与

ループ橋の
整備により
交通が円滑に

